

Ube 宇部 I E C A 会報 International Cooperative Environmental Association Report

Ube IECA Report

発行
宇部環境国際
協力協会

No. 17

2015.5.



昨年はアフリカ6ヵ国から13名の研修員を初めて受け入れました。研修員達は、交流ボランティアの方々と瑠璃光寺、秋芳洞を観光した後、白壁の続く萩市内を散策しました。萩でお茶のお手前を初めて経験し、研修員達は日本の伝統的な文化に感動していました。

インドネシア共和国

ブンカリス県において環境基本計画を制定

インドネシア共和国ブンカリス県から3年にわたり研修員を受け入れて「宇部方式」による環境対策などの研修を続けて来ました。今回の取り組みでは、単に研修するだけでなく、帰国後に、研修の成果を生かしてブンカリス県における環境問題の克服に向けた環境基本計画を作成することを最終目標としてきました。その結果、紆余曲折は有りましたが、本年3月にブンカリス県環境基本計画が完成しました。このような基本計画の作成は、インドネシアでは初めてのことだということです。

JICA 青年研修事業（アフリカ：都市環境管理コース）

アフリカの将来の国づくりを担う青年 13 名が 6 ヶ国から参加して都市環境管理の研修を受けました。研修では宇部市が経験した激甚な粉じん公害を「宇部方式」により解決した経験や市内企業、大学等の環境保全技術を学びました。また、市民の環境への取り組みを市民との交流を通じて肌で感じ、幅広い環境保全対策や技術などを理解しました。さらに、日本の再生可能エネルギー（バイオマス発電、生ごみ発電、地熱発電）や宇部市の環境政策、環境保全対策について学びました。今回は、エボラ出血熱の影響もあり、体温の毎日の確認など健康管理のことなどで山口県の宇部健康福祉センターとも対応策を協議して取り組みを行いました。

■ 研修実施主体	JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
■ 期 間	平成26年10月2日～10月14日 13日間
■ 研 修 員	ボツワナ、エチオピア、ガーナ、モーリシャス、スーダン、ウガンダ（6ヶ国） 青年行政官及び技術者 13名
■ 研 修 先	宇部興産(株)、北九州市エコタウンセンター、九州電力(株)八丁原地熱発電所、(株)日田ウッドパワー、 日田市バイオマス資源化センター、宇部フロンティア大学短期大学部、山口県宇部健康福祉センター、 山口県、宇部市

開講式



開講式で久保田市長ともお話をしました。



市民や関係者にジョブレポートを発表しました。

研修風景



宇部市環境保全センターで宇部市のごみ処理や3Rについて学びました。



宇部市広瀬浄水場などで上下水道の施設について学びました。



山口県大気汚染常時監視施設を見学しました。



宇部セメント工場で廃棄物の資源リサイクルを見学しました。



北九州市エコタウンで事業の概要、エコタウン内立地事業の環境や3Rについて学びました。



日田市バイオマス資源化センターで生ごみ、し尿等によるメタンガス製造施設等を見学しました。



九州電力(株)八丁原地熱発電所を見学しました。



閉講式



研修の集大成として市民や関係者にプログラムレポートを発表しました。



無事研修が終了し、修了証書を受領しました。

市民との交流



市民ボランティアと山口瑠璃光寺を見学し、交流を深めました。



萩ではお茶席の体験を通して日本文化について学びました。



初めての試みとして、志立市民大学環境学部の卒業生である環境まちづくりサポーターと市民が行っている実際の環境活動について討論を行いました。

JICA 草の根技術協力事業（地域提案型） 「ブンカリス県における環境改善協力」 3年次

インドネシア ブンカリス県は、熱帯泥炭湿地林が残るスマトラ島北部にあり、石油の産出による経済開発が急速に進行しています。現在、生活環境改善と持続可能な自然保護をいかに進めるかが、大きな課題となっています。このような状況の下で、「宇部方式」の精神を活かしたブンカリス県環境基本計画の作成を通じて、ブンカリス県の環境管理の仕組みを強化する取り組みを進めています。平成24年度から3ヶ年計画でブンカリス県から研修員を受入れて「ブンカリス県における環境改善協力」研修を実施しました。

本年度は最終の3年次として、県議会、環境・計画部門等の行政、リアウ大学の幹部6名を研修員として受け入れました。帰国後研修員達は、環境基本計画策定チームの一員として活動し、環境基本計画を作成に寄与しました。

<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修実施主体 ■ 期 間 ■ 研 修 員 ■ 研 修 先 	<p>JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会</p> <p>平成27年2月1日～2月19日 19日間</p> <p>ヘル・ワヒュディ・ビン・チャイルム・ノサ アマール・ファイサル・ビン・ハサン アルマン・アリ・アムラン イマム・ハキム・ビン・アムナン モハマッド・アズミール ソフヤン・シレガール</p> <p>ブンカリス県議会 議長 ブンカリス県官房 行政補佐官 ブンカリス県環境局 局長 ブンカリス県地方開発計画庁 事務長 ブンカリス県プランテーション・森林局 課長 リアウ大学海洋水産学部 副学部長</p> <p>宇部興産(株)、宇部地区環境保全協議会、(株)広島企業宇部テクノロジーサイクルセンター、(株)アースクリエイティブ、(株)中国水工、フロンティア大学短期大学部、山口大学工学部、アクトビレッジおの指定管理者株式会社PMY、宇部市まちなか環境学習館、おおき循環センター、(株)日田ウッドパワー、山口県、宇部市</p>
---	--

開講式



開講式を行いました。



市民を前にカントリーレポートを発表しました。

研修風景



「宇部方式」の概要や宇部市の環境行政について学びました。



宇部市広瀬浄水場を見学しました。



(株)中国水工で公害分析施設を見学しました。



花香農業集落排水処理施設を見学しました。



東部浄化センターでし尿処理場・下水処理場（し尿や下水の処理体系）について学びました。



宇部市環境保全センターで宇部市のごみ処理や3Rについて学びました。



宇部興産(株)で石炭火力発電におけるバイオマスの利用と環境対策について学び、iプラザを見学しました。



宇部テクノリサイクルセンターでプラスチックのリサイクル施設を見学しました。



(株)アースクリエイティブで食品廃棄物のリサイクル施設を見学しました。



山口大学工学部で住民活動及び市民・行政協働、環境の総合評価について学びました。



おおき循環センターでごみとし尿の肥料化について学びました。



日田ウッドパワーでバイオマス発電について学びました。



山口大学工学部でリモートセンシング技術の植生分布への応用などについて学びました。



帰国後の環境基本計画の作成作業、住民説明会の実施計画などについて専門家と協議しました。

閉講式

作成したファイナルレポートを発表しました。



JICA中国国際センターから修了証を受領しました。



市民との交流

広島平和記念公園や世界文化遺産厳島神社を見学し、市民との交流を図りました。



送別会でも多くの市民との交流を図りました。



JICA 草の根技術協力（地域提案型）

「ブンカリス県における環境改善協力」 専門家派遣

「宇部方式」の精神を活かしたブンカリス県環境基本計画の作成を通じて、ブンカリス県の環境管理の仕組みを強化するため、平成24年度から3ヶ年計画で「ブンカリス県における環境改善協力」を実施しました。

本年度は専門家を2回派遣し、環境基本計画策定の進捗状況について協議しました。

第1回派遣では、「環境基本計画策定チーム」が組織されてはいるものの策定作業がはかどっておらず、遅れを取り戻すよう強く求めた。また、環境関連施設、水道施設、企業、生態系保護地区等において技術者等と協議を行いました。一方、山口大学の神野助教には、環境基本計画の策定・評価・更新のためのリモートセンシング・データの利用について、情報提供及び活用について協議を行っていただきました。

第2回派遣では、地方開発計画局（BAPPEDA）主催の事業計画住民説明会へ参加し、その実情を把握しました。そして、「草の根事業」研修生と総括協議を行い、今後の環境基本計画策定の進捗方針や検討課題などを協議しました。また、次期「草の根事業」について地方開発計画局・環境局・県議・水道公社他との合同協議も行い、飲料水の水質改善に焦点を当てることに合意しました。さらに、水道公社、マサユ漁村、簡易水道（膜処理）、環境局の環境検査室などを視察して、現状の問題点を把握しました。（本年3月には環境基本計画が策定されたことの報告を受けました。）

第1回派遣

- 専門家派遣先 インドネシアブンカリス県
- 研修実施主体 JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
- 期 間 平成26年10月18日～12月25日 8日間
- 専 門 家 浮田正夫 山口大学 名誉教授、宇部 IECA 理事長
神野有生 山口大学 大学院理工学研究科 助教
黒瀬寛文 宇部市 市民環境部 環境保全センター施設課 課長
川崎一利 宇部市 市民環境部 環境政策課 課長補佐
中村 篤 宇部市 上下水道局 給排水課 課長

第2回派遣

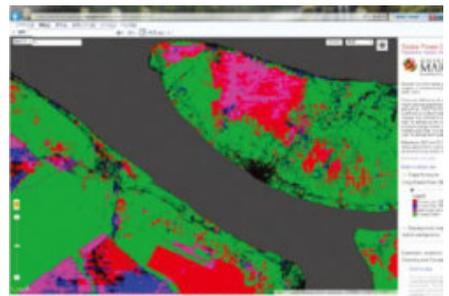
- 専門家派遣先 インドネシアブンカリス県
- 研修実施主体 JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
- 期 間 平成27年2月21日～2月28日 8日間
- 専 門 家 浮田 正夫 山口大学 名誉教授、宇部 IECA 理事長
西丸比呂史 宇部市上下水道局 副局長



リアウ州立大学で関係者と協議しました。



地方開発計画局で環境基本計画の策定などについて協議しました。



神野先生から2000-2012年の植生被覆の変化などについて講演をいただきました。



茶褐色の飲料水の原水を視察しました。



着色が残る水道水の事例です。



住民説明会に参加しました。

その他研修員受け入れ

KITA 研修生に
環境対策の「宇部
方式」について講
義をしました。



JICA 集団研修「大気汚染管理」コース

研修実施主体：KITA（北九州国際技術協力協会）
期 間：平成26年5月30日（1日間）
研 修 員：ボツワナ、中華人民共和国、エジプト、インド、
モンゴル、セネガル、スリランカ 計10名
研 修 視 察 先：宇部市

バングラデシュの
行政について環境
を講義しました。



平成26年度 JICA国別研修(バングラデシュ) 「地方行政能力強化コース」

研修実施主体：JICA、山口大学
期 間：平成26年5月30日（1日間）
研 修 員：バングラデシュ政府行政官9名、
地方都市市長31名 計40名
研 修 視 察 先：宇部市

バングラデシュの
行政について環境
を講義しました。



平成26年度 JICA国別研修(バングラデシュ) 「地方行政能力強化コース」

研修実施主体：JICA、山口大学
期 間：平成26年8月7日（1日間）
研 修 員：バングラデシュ政府行政官他 14名
研 修 視 察 先：宇部市

環境国際セミナーの開催

IECAの
後、関根の
講演を授
けました。



(1) 第1回環境国際セミナー

◆ 平成26年6月20日(金) (平成26年度総会後)
◆ 宇部市文化会館 共催：宇部市
演 題：「JICA草の根技術協力事業の専門家派遣報告と今後の展開
～インドネシアブンカリス県における環境改善協力～」
講 師：山口大学大学院理工学研究科 教授 関根 雅彦氏



神野助教による
講演を行いました。



小野万理氏による
講演を行いました。

(1) 第2回環境国際セミナー

◆ 平成27年3月27日(金) ◇ 宇部市文化会館 共催：宇部市
演題1：「衛星画像でみるインドネシア・ブンカリス県の森林破壊
～インドネシアブンカリス県における環境改善協力～」
講 師：山口大学大学院理工学研究科 助教 神野 有生氏
演題2：「最近の山口地区の国際協力活動の状況」
講 師：独立行政法人 国際協力機構 中国国際センター
山口県JICAデスク 小野 万理氏

環境保全技術講座の開催



防府市クリーンセンターの見学
会を行いました。



日本製紙(株)岩国工場の見学会を
行いました。

第1回環境保全技術講座

◆ 平成26年8月22日(金)
◆ 防府市クリーンセンター及び
日本製紙(株)岩国工場見学
後 援：宇部市
参加者：32名

広報活動

平成26年7月20日(土)
宇部市ときわ公園



「ごきげん未来フェスタ2014」でパネル展示とクイズを行いました。

「ごきげん未来フェスタ2014」で当協会の取り組みについてパネル展示とクイズを行いました。暑い中、沢山の方に楽しんでもらえました。

平成26年11月2日(祝)
新天町ハミングゾーン



クイズは楽しんでもらえたでしょうか?

宇部まつり「青空ゾーン」で当協会の取り組みについてパネル展示とクイズを行いました。

平成26年11月22日(日)
銀天エコプラザ前広場



IECAの取り組みを紹介しました。

「第14回まちなかエコ市場」で当協会の取り組みについてパネル展示を行いました。

平成27年3月15日(日)
銀天エコプラザ前広場



IECAの取り組みを紹介しました。

「第15回まちなかエコ市場」で当協会の取り組みについてパネル展示を行いました。

交流ボランティアの活動

当協会交流ボランティアは、研修員との交流や、日本文化、歴史の理解を図るため研修員のサポートをしています。

JICA インドネシアブンカリス県研修では広島平和記念資料館や宮島厳島神社を探訪し、交流しました。また、JICA 青年研修(アフリカ)では萩などを訪問し、白壁造りの市内を探訪し、お茶席でお点前の手ほどきを受けました。

インドネシアブンカリス県研修員とお好み焼きを作る交流ボランティア。



アフリカからの研修員とお茶席での交流ボランティア。



平成26年度 総会

平成26年6月20日(金)に開催し、前年度事業報告、新年度事業計画などが審議、承認されました。



浮田理事長の挨拶です。



久保田宇部市長(IECA顧問)からご挨拶をいただきました。

ボランティアのお願い



国際交流および技術支援のボランティアを募集しております。皆様方の事情に合ったボランティアを積極的に行っていただけませんか。

<国際交流ボランティア>

今後、海外から多数の研修生が、宇部市を訪れると思われます。外国語(英語、スペイン語、中国語等)の会話が可能な方で、休日のホームステイ、市内外の案内等をしていただきます。

<技術支援ボランティア>

環境技術をお持ちの方で、海外研修生の受け入れのための研修コースの策定、研修生の受け入れ、途上国環境対策調査等をしていただきます。

会/員/募/集

現在の会員数

- 個人 200人
- 法人団体 50団体

宇部IECAは会員の皆様の会費により運営されております。

会費は次のとおりです。

- ★個人会員 1口 1,000円(年額)
- ★法人団体 1口 10,000円(年額)
- ★何口でも可

宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところにあります。「会員になって一緒に国際交流を行ってみませんか」と知人等へのお誘いをお願いします。

発行
事務所

宇部IECA
宇部環境国際協力協会

〒755-0045

山口県宇部市中央町三丁目12番19号

オフィス OHI 201

TEL・FAX (0836) 36-3199

Eメール info@ieca.biz

URL http://www.ieca.biz